

題材名「セキツイ動物の分類シート」

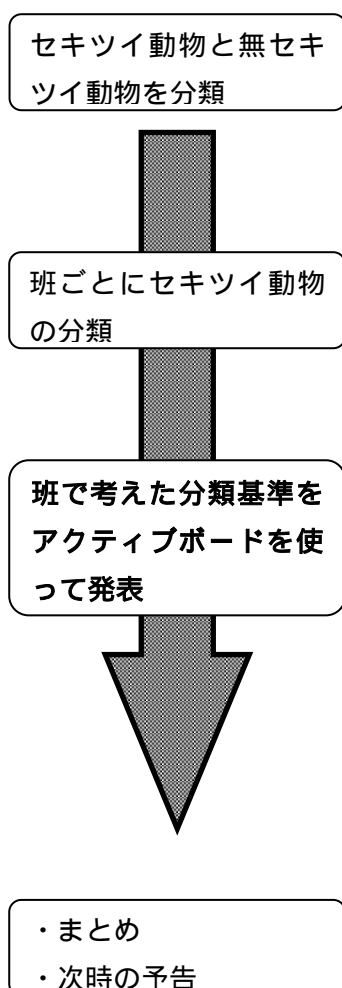
目 標

- ・ 生徒の意見や考えを、目で見える形で表し、全員で共有する。
- ・ セキツイ動物を分類する基準は、たくさんあることを理解する。

コンピュータを活用する利点

当単元では、動物のからだについて学習するため、実物を示すということが、困難な場合が多い。そのため、生徒の関心を持たせ、視覚的に捉えることで、学習内容を理解しやすくなると考えられる。また、板書したものは、動きはつけられないが、コンピュータでは、動きがつけられ、何度もやり直すことができる。

授業の流れ



ICT 活用場面

班ごとに、自分たちで基準を考え、様々なセキツイ動物を分類させた。最初は手元で、画用紙と付箋を用い、画用紙上で付箋を動かすことで、グループ分けを考えた。その後、班ごとに、自分たちの班が考えた分類の基準、グループ分けを、アクティブボードを使って発表させた。ただし、生徒はアクティブボードの使い方を知らないで、説明をした。また、プロジェクタで映像を投影しているため、アクティブボードを操作する際、プロジェクタの前に立つと、自分の影で映像が消えてしまうことがあったので、影にならないよう注意した。発表では、背景の色によって、画面を3つや4つに分け、それぞれの位置に、動物の画像を動かすことで、分類分けをした。その後、生徒の前で、分類した基準を発表させた。



成果と課題

コンピュータやアクティブボードといったICTを、授業の中で活用すると、生徒はとてうれしそうで、高い関心を示す。また、視覚的に捉えることができ、理科では、実際のものを見せられない場合や、図に書き込んで説明する場合には、非常に有用である。課題としては、操作者の影で映像が消え、操作しにくく、長時間見ていると目が疲れるという点である。さらに、持ち運びしにくい点も課題である。

ICT 活用環境等

使用周辺機器	ノートパソコン1台、プロジェクタ、アクティブボード
使用ソフト名	ACTIVstudio Professional Edition
使用教室	理科室

